

Ⅲ 前回の調査結果により事業に活用した事例の進捗状況

●効果的な市政情報の提供に向けて【秘書広報課】

設問	現在、インターネットを利用していますか。
調査結果	「主にパソコンでインターネットを利用している」と「パソコン以外の機器（携帯電話など）で、インターネットを利用している」を合わせた「利用している」が 60.5%、「利用していない」が 32.3%となりました。
活用した事例の進捗状況	インターネットを利用しているかたが多いことから、トップページのデザインをリニューアルしました。 また、SNSを活用して情報発信するため facebook「い〜ネ！いなざわ」を導入しました。

●いきいきいなざわ・健康 21（第 2 次）計画推進【健康推進課】

設問	1. たばこが影響する病気について知っていますか。 2. 日頃から体を動かすよう心掛けていますか。 3. 1 日に 30 分以上歩いていますか。 4. 朝食を毎日食べていますか。
調査結果	いきいきいなざわ・健康 21 計画時（平成 16 年度）のアンケート結果より 1. 病気とたばこの関係は、ほとんどの年代で認識度が上がっています。 2. 60 歳以上のかたで運動を心掛けている人は、6 ポイント低くなっています。 3. 1 日に 30 分以上歩いているかたは、全体で 15 ポイント高くなっています。 4. 60 歳以上のかたが朝食を毎日食べる割合は、平成 16 年度より 3 ポイント低くなっています。
活用した事例の進捗状況	いきいきいなざわ・健康 21（第 2 次）計画中の評価指標として活用しています。また、市民の健康づくりと生活習慣の改善を推進するため、いきいきいなざわいなッピー健康マイレージ事業を実施しています。

●農業への理解促進に向けて【農務課】

設問	野菜づくりなどの農作業について興味や経験はありますか。
調査結果	農作業への興味や経験は、「関心はあるが、農作業をしたことはない」が 35.3%と最も高く、次いで「関心はなく、農作業をしたこともない」が 25.9%、「日常的に農作業をしている」が 18.4%となりました。
活用した事例の進捗状況	基本的な野菜の栽培知識を習得し農業への興味や生きがいづくりの一躍になるよう、「はつらつ農業塾（生きがいコース）」を継続しています。

●地域猫活動に取り組むことができるかの意識調べ【環境保全課】

設問	1. 飼い主のいない猫についてどう思いますか。 2. 地域猫活動を知っていますか。動物のボランティア活動をやってみたいですか。
調査結果	1. 「何か対策をとる必要がある」と答えられたかたが 35.7%となりました。 2. 「動物のボランティア活動をやりたくない」と答えられたかたが 59.2%を占め、「やっている」または「やりたい」と答えられたかたは 8.2%にとどまりました。
活用した事例の進捗状況	1. 猫の飼い方についてのチラシを作成し、環境委員会議で環境委員に配布しています。 2. 地域猫活動について、猫の飼い方の一例であるということを周知するとともに理解を深めていただくためホームページに掲載しました。

●水道水の安全についての意識調べ

飲料水を備蓄することについての意識調べ【水道業務課】

設問	1. 飲料水として、最も利用する水は何ですか。また、水道水を利用していない理由は何ですか。 2. 地震など災害時における飲料水対策をどのようにされていますか。
調査結果	1. 飲料水としても最も利用する水は、「水道水」が 44.4%と最も高く、次いで「浄水器で浄水した水道水」が 19.0%、「市販のペットボトル入りの水」が 16.2%となりました。 また、水道水を飲料水として利用していない理由は、「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が 30.3%と最も高く、次いで「安全性（水質）に不安を感じるから」が 23.7%、「特に理由はない」が 15.1%となっています。 2. 地震における飲料水対策は、「市販のペットボトル入りの水等を備蓄」が 55.4%と最も高く、次いで「何もしていない」が 36.4%、「ポリタンクなどに水道水をくみ置き」が 4.9%となりました。
活用した事例の進捗状況	1. 第5次総合計画などで示されている目標値に対する達成度を検証することに利用しています。 2. 飲料水の備蓄について今後の啓発活動の方針・方法を検討する根拠として活用しています。

●市民の図書館の利用状況調べ【図書館】

設問	図書館を利用したことがありますか。また、利用したことがない理由は何ですか。
調査結果	利用の有無は、「ある」が 58.1%、「ない」が 39.8%となりました。利用したことがない理由は、「本をあまり読まない」が 35.7%と最も高く、次いで「読みたい本は自分で購入する」が 29.0%、「市図書館までの交通が不便だから」が 21.0%となりました。
活用した事例の進捗状況	図書館への関心を引き起こすよう講座・講演などを主催し、更なる利用を図っていきます。また、多くのかたが利用できるよう中央図書館では平成 27 年 4 月より開館時間を「午前 10 時から午後 7 時まで」から「午前 9 時 30 分から午後 7 時 30 分まで」に拡大するとともに、休日の振替休館日を削減しました。

●住宅用火災警報器などの設置状況調べ【消防本部予防課】

設問	1. お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。 2. 住宅用火災警報器以外に、どのような防災機器などを家庭で備えていますか。
調査結果	1. 住宅用火災警報器の設置状況は、「設置している」が 53.3%と最も高く、次いで「設置していない」が 28.7%、「一部設置している」が 15.5%となっています。 2. 家庭で備えている住宅用火災警報器以外の防災機器は、「住宅用消火器（一般家庭向けの、小型で軽く、操作が簡単な消火器）」が 48.8%と最も高く、次いで「特に備えていない」が 34.9%、「水バケツ」が 17.7%となりました。
活用した事例の進捗状況	1. 春と秋に実施する「全国火災予防運動」の期間に、住宅用火災警報器普及啓発のチラシなどを設置率の低い年齢層を中心に配布しました。 2. 区や事業所の消防訓練時や予防課事業である消防ひろばや防火管理講習において市民に対して、住宅用火災警報器設置の重要性を周知しています。

●市民に利用される市民病院に向けて【市民病院管理課】

設問	あなたや家族のかたが病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。また、利用しない理由は何ですか。
調査結果	「利用する（利用している）」が 42.7%で最も高く、次いで「わからない」が 29.7%、「利用しない」が 26.7%でした。年齢別では、若い年代で利用率は低く、年齢が上がるほど利用率が高くなっています。 利用しない理由としては、「自宅から遠く、不便」が 53.2%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」が 23.7%で主な理由になっています。
活用した事例の進捗状況	若い世代で利用率が低いため、閲覧する頻度の高いホームページやスマートフォンで病院情報の発信に努めています。 「待ち時間が長い」という回答が多かったため、待ち時間対策について院内で検討を重ねています。一部の診療科ブロックで、医療関連の情報紙などを設置し自由に閲覧できるようにしました。